

# 軟式庭球協会

## 沿 革

幕別町の軟式庭球協会は、もと幕別市街を止若といていた昭和25年6月、止若在住の同好者によって止若庭球協会を組織した。役員には、新田ベニヤ工場の半井勇三が会長、笹原商会の笹原登、新田ベニヤ工場の篠田正男が副会長に就任し、軟式庭球協会が組織されたのが初めての記録である。

昔を逆のほれば、昭和の初期に時代の先端をいていた合資会社新田ベニヤ製造所の社員により幕別町で初めて軟式庭球が当工場のテニスコートが造成されたのにもない、止若の地に導入された。幕別町のテニスの発祥は新田ベニヤから始まりました。

終戦後、軟式庭球は増々普及し、一般町民までテニスを受好するようになり、各種大会に選手を送るようになり、一躍十勝に幕別町の名が高々と成果をあげるようになった。

協会を組織する前の昭和24年から昭和26年の3年間にわたり、半井勇三、中村実、篠田正男、笹原登、芝木繁、藤島実、品田信、竹内幸男、鳥海八郎、白川醇らによって全十勝町村大会で連続して優勝をさらったことは今でも記録されている。

また、中村実、藤島実、北原隆、芝木繁、石橋次雄、牛尾毅、芝木勝幸らによって昭和29年から昭和31年までの3年間、再度、全十勝町村大会で連続優勝したほか、芝木勝幸が全道大会で優勝、芝木裕之が昭和39年から国体へ7回出場、全日本大会で3位、また国体では最近まで北海道チームの監督として出場し、全道に幕別町のテニスは有名になった。

過去、個人的に優秀な選手を送りだしたが、その後停滞をきたし、昭和36年には、有沢隆則、末吉康弘、稲毛一郎、宮本彰、逢坂幸次、横川清、奥田仁、牛尾毅、佐古啓二、稲毛哲郎ら会員25名あまりにより幕別町軟式庭球同好会を親睦団体として付近の環境のよい新田ベニヤテニスコートを借り発足した。

その後、中学生、高校生、また初心者者のテニス人口の増加に伴い、新田ベニヤコートの整備として町の助成もあり、新田ベニヤの多大なる協力をいただき、フェンスの改築やコートの拡張、審判台の新設などをし町民のコートとして解放していただいている。

新田ベニヤのコートが町民に解放されているなか、待望の町営コートが幕別町運動公園内に2面造成された。それぞれ有効に利用しているが、整備されたコートにより道民スポーツ大会十勝地区大会で、昭和48年には準優勝、昭和51年、52年には連続して3位の成績をあげることができた。



新田コートでのテニス教室



道民スポーツ大会の参加者

全十勝町村大会が一時中断されていたが、幕別町軟式庭球同好会員により再度全十勝町村大会を幕別町運動公園が造成されたのを機会に、昭和52年に第1回の大会を開催した。その後、各町村が持ち廻りにより、今でも盛大に開催されている。

毎週日曜日には、教育委員会の協力を得て、初心者テニス教室を新田コートで開催している。また、社会体育の一環として同好会員の指導のもとで、昭和53年に幕別地区ママさんテニス教室を、昭和54年には札内地区ママさんテニス教室を開催している。冬期間には幕別小学校、札内中学校の屋体を解放していただき楽しんでいる。

当同好会では、同好会は親睦団体のため一般の愛好者の方がなじめないということから、昭和54年度総会により、幕別町軟式庭球協会と名称を改めた。そのことにより多数の方が協会に参加できるようにした。協会の発足に多大なる協力を得たのは、有沢隆則、末吉康弘、稲毛一郎、宮本彰、芝木勝幸、逢坂幸次、牛尾毅、横川清、奥田仁、宇佐見忠士、深松卓、印銀道広、松村博義らであり同好会を通して会長は芝木勝幸である。



幕別地区ママさん教室の会員



札内地区ママさん教室の会員

## 現 況

18年間続いた軟式庭球同好会を昭和54年4月より、幕別町軟式庭球協会と名称を改めた。そのことにより多勢のテニス愛好者が気軽に参加できるよう願ったことである。



昭和54年春季大会の優勝者  
(稲毛・横川組)

勝は奥田仁、印銀道広である。

最近の大会は、町内大会を春・秋に開催している。また、当協会は襟広軟式庭球協会に加盟し、加盟団体の対抗戦(春秋の2回)、個人戦、インドア大会、ママさん大会などに出場、各町村が主催する全十勝町村大会にも出場し、いずれ

毎週日曜日には、新田コートでテニス教室を開催、昭和53年には幕別地区のママさんテニス教室、昭和54年には札内地区のママさんテニス教室をそれぞれ開催した。指導者には日中仕事の忙しいなかを横川清、逢坂幸次、奥田仁、松村博義、末吉康弘があたり、両ママさんチームは54年度の全町春季テニス大会に参加し幕別地区、札内地区のママさんの交流をはかった。この大会で男子の部では横川清、稲毛一郎組が優勝、準優勝



会長 芝木勝幸

も優秀な成績を収めている。

現在の協会役員は

会長 芝木勝幸 副会長兼主将 横川 清 マネージャー 宇佐見忠士 会計 末吉康弘

## 展 望

当協会は、初心者テニス教室、ママさんテニス教室、中学生の指導をこれからも重点的に進めていく方針である。残念なことに町営テニスコートのない札内地区の開催が今後の課題である。

協会を発足してまだ1年も経っていないため、これから更に充実し現協会を育成し、また、テニス人口がますます増えることを会員一同は願っている。

